

研究協力のおお願い

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

内科学 教室

記

研究課題名：ギラン・バレー症候群の各病型における血液・髄液検査所見の検討

研究の意義：ギラン・バレー症候群のそれぞれの病型における検査所見および合併症を明らかにし、病態の詳しい理解、効率的な診断・治療に役立てます。

研究の目的：ギラン・バレー症候群は末梢神経を障害する炎症性疾患ですが、脱髄型と軸索型の2つの病型（グループ）に大別され、病型により病態などが一部異なることが報告されています。ギラン・バレー症候群では、血液・髄液検査で時に異常値を認めることがわかっていますが、それぞれの病型でどのような異常値を認めるかはわかっておりません。今回、それぞれ病型における血液・髄液所見を明らかにし、ギラン・バレー症候群、それぞれの病型の理解を深めたいと考えています。

研究の方法：診療録より患者さんの臨床情報（重症度、神経学的所見など）、血液・髄液検査所見、神経伝導検査所見などを調査します。患者さんを神経伝導検査所見などよりいくつかの病型に分類し、集めた情報を集計して解析し、各病型と血液・髄液検査所見の関係を中心に検討します。患者さんに協力してもらう内容ですが、診療録に記載されている発症から当院外来終了までの既存情報（データ）を研究に利用させていただきます。

研究の対象：平成 17（2005）年 1 月 1 日から令和 10（2028）年 3 月 31 日まで本院に
入院した 16 歳以上のギラン・バレー症候群の患者さん

研究期間：平成 29（2017）年 1 月 11 日～令和 10（2028）年 9 月 30 日

既存情報の利用目的等：当該研究実施のための基礎データとして利用させていただきます。
ます。

ご自身の情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（代諾者からの申し出も受付いたします）。なお、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

対象者の方（代諾者）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や当該臨床研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、当該臨床研究計画及び当該臨床研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：

個人情報の内容として、患者さんの臨床情報（重症度、神経学的所見など）、血液・髄液検査所見、神経伝導検査所見などがあります。被験者の個人情報の取り扱いについては、十分に注意を払い、論文投稿や学会発表等では、個人情報が特定されないようにします。また、当該被験者より個人情報の開示の求めがあった場合は、すみやかに開示を行います。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：

大阪医科薬科大学 内科学 担当医師 細川 隆史

TEL 072-683-1221(代表) 内線 56962

利益相反について：本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保、または確保していることを社会に適切に説明するため、本学では、利益相反に対する基本的な考え方を「大阪医科薬科大学利益相反ポリシー」として定め、研究の実施やその情報の普及・提供が適正になされているかどうかを客観的に判断し評価する仕組みとして研究に係る利益相反マネジメントを導入しております。本研究の資金源は、内科学 教室の講座研究費から拠出されます。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名：研究責任者 内科学 特別職務担当教員（講師） 細川 隆史

研究分担者 内科学 助教（准） 垣内 謙祐

研究分担者 脳神経内科 レジデント 小川 将司

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 内科学

担当医師 細川 隆史

TEL 072-683-1221(代表) 内線 56962